

将来のまちの姿を描く

計画づくりがスタート

津別町総合計画策定審議会を委嘱

第1回目の総合計画策定審議会は、佐藤町長から委員となる50人に委嘱状が交付され、委員の互選によって会長に原田英機さん、会長職務代理に富田紗智子さんを選出しました。

から始まります。今後、審議会では町の資源や潜在力・魅力の掘り起こしを行い、10年後の津別を捉えて各分野の課題について検討しながら、町民と行政による協働のまちづくりをめざした実行性のある計画づくりが行われることとなります。



「第5次津別町総合計画」を策定するための第1回目の審議会が7月1日、中央公民館において開催されました。佐藤町長から「この町をどのような地域社会に育て上げていくかを描く一大事業です。困難に立ち向かい、夢と希望に向かって前に進む、たくましい精神と意気込みを何よりも必要とします。皆さんと「10年後の津別の映像」を思い浮かべながら、物語を作りあげていきましょう」と挨拶があった後、委員の互選によって会長と会長職務代理が選出されました。

今回の策定する総合計画は、平成22年度をスタート年とする10年後の町の姿を描く重要な計画で、津別町の計画の中で最上位として位置づけられるものです。自主・自立まちづくりの理念である「自分たちの地域を自分たちの手で」の実現に向けた計画づくりは、住民の方々自らが参加し、決定し、その担い手となること



- 策定審議会委員（敬称略）
- 浅木文雄（北見市）、荒川博明（旭町）、今井義広（東岡）、上田幸子（高台）、植松彰（共和）、大谷利余（柏町）、奥村義雄（共和）、鍛冶博光（大通）、柏葉恵（布川）、勝谷博夫（共和）、金一謙蔵（相生）、木内邦彦（幸町）、斉藤光雄（豊永）、桜井浩子（幸町）、迫田浩司（大昭）、佐々木利明（柏町）、佐野多希子（上里）、曾根教勝（高台）、高橋以明（旭町）、竹中茂樹（活汲）、竹中博人（幸町）、田中四郎（豊永）、谷智博（達美）、津幡俊二（達美）、富田紗智子（東四条）、中川靖由（幸町）、長岐章久（豊永）、中島浩一（本町）、長野三恵子（共和）、中山静男（上里）、長良信子（達美）、新鞍忠信（旭町）、蓮井和一（共和）、原田英機（本町）、樋口英男（緑町）、平塚博之（東一条）、実紀雄（達美）、星屋光男（達美）、星屋好春（高台）、松平範慶（緑町）、丸尾幸江（共和）、水上隆（一条通）、村田政義（本岐）、八畝里奈（柏町）、矢作芳信（岩富）、山内彬（豊永）、山内浩子（豊永）、山田耕司（緑町）、渡邊勝年（豊永）、渡辺直樹（柏町） 五十音順



会場を笑いでつつんだ勝山棍のライブ!



観衆を魅了した渡辺真知子さんのオンステージ



第38回 つべっ夏まつり

すなっぷ



夜空を彩ったきれいな花火



優勝目指して!爆走川のぼり!



華麗な演舞が会場を盛り上げる!



定番のスマートボールは大人気



全国レベルの演奏に拍手喝采



若手お笑い芸人グリーンランド



7月5日・6日の両日、河岸公園で第38回「つべっ夏まつり」が開催されました。5日の前夜祭は、開始される数時間前まで強い雷雨にみまわれ、開催が危ぶまれましたが、雨もやみ多くの参加者が千人踊りやよさこい競演を楽しみました。最後には前夜祭をしめくくる350発の花火が打ち上げられ、観客からは大きな歓声が上がっていました。翌日の本祭りは、前日の天気と打って変わって晴れわたり、30度を超す猛暑となりましたが、この日もまた多くの家族連れで賑わいました。

今年で4回目となる川のぼりには38人が参加し、タイムが10秒をきる参加者もいるなど、まつりのイベントとしてすっかり定着しました。

HBCラジオの公開録音では、渡辺真知子さんの歌謡ステージとお笑いコンビの勝山棍やグリーンランドによるステージも行われ、会場は笑いでいっぱいでした。観衆は津別産の牛肉やビールを味わいながら熱い夏の到来を感じていました。